

～2024年の干支「辰」にちなんだ神社を参拝し、今年一年の健康と幸運を祈願しました!～

大晦日から三が日にかけて不安定な天気が続いていましたが、当日は朝から好天に恵まれました。都営大江戸線練馬駅に集合し、東京メトロ浅草線・京急本線を乗り継ぎ新馬場駅で待ち合わせた参加者と合流。元旦に能登半島地震の発生、2日には日航機事故と続いたため新年の挨拶も控えめに交わし20名で出発しました。



荏原神社

北口改札からエスカレーターを降りると広い道路（第一京浜）の反対側に「品川神社」と書かれた白い大きなのぼりと大きな大黒天、鳥居が目に入ります。道路を渡り、神社入口の「双龍鳥居」と石段の間で記念写真を撮影。やや急な石段を上り11:20頃参道に到着しました

が、拝殿まで60～70m位の間に多くの参拝客が並びすぐにお参りできそうにないため、社殿裏手にある「板垣退助の墓」をお参りました。



荏原神社屋根上の龍神様

「板垣死すとも自由は死せず」の石碑もありました。拝殿に戻り混み方が相変わらずなので拝殿の外から参拝しました。境内の丸い台座に乗った「備前焼の狛犬」、「ぶじかえる」と交通安全を守ってくれる親子蛙の石像などを見ながら「品川富士」に登り、江戸時代の頂上からの眺めを想像して下山。



品川神社



品川神社 双龍鳥居

品川神社を後にして駅から5～6分の「旧東海道」沿いの「そば処いってつ」に11:40頃到着。11:30に開店したばかりですが、既に八割方客が入っていて全員座れず半分くらいの方が別の店へ。各自お好みにより昼食を楽しみました。

昼食後旧東海道を南へ 目黒川沿いに右折し10分程で朱塗りの「鎮守橋」のたもとに鎮座する「荏原神社」に到着。大鳥居の傍らに祀られている恵比寿神の前で記念写真を撮影。拝殿の屋根左右から「龍神様」が顔をのぞかせて見下ろしています。

拝殿軒下の至る所に龍や鳳凰など見事な彫刻が施されています。

参拝後旧東海道を戻り新馬場駅で14時前に解散しました。

<以下ご参考>品川神社：1187年源頼朝が海上交通安全と、祈願成就の守護神として創建

双龍鳥居：石製鳥居の左側の柱に昇り龍、右側に降り龍が巻き付いた彫刻が彫られています。東京では他に馬橋稲荷神社(阿佐ヶ谷)と高円寺境内稲荷社のみ

品川富士：都内最大級の富士塚、高さ約15m

板垣退助の墓：元東海寺塔頭の高源院の境内で、関東大震災後に墓を残して世田谷区烏山に移転

備前焼の狛犬：赤味がかった色が付いている。(都内で唯一)



ランチタイム

荇原神社：709年奈良の元官幣大社・丹生川上神社より龍神を勧請して創建。古より「品川の龍神様」として水や雨を司る龍「水神」として信仰を集めてきました。
当日参加された方また参加できなかった皆様にも、品川神社・荇原神社のご利益がある事をお祈りいたします。

<報告：新井建男>